

第48巻第2号 (1994年10月)

〔論文〕

- マーシャル「覚え書」と関税改革論争……………服部正治
「応用統計学」をめぐる論争とその背景
——ベレストロイカのなかの旧ソ連統計学界のひとこま—— ……岩崎俊夫
日本企業の資本利益率と資本コスト
——国際比較の困難性—— ……亀川雅人
ドイツにおける会計基準の国際的調和化について……………倉田幸路
IASとフランス会計基準……………松井泰則
セグメントの概念規定に関する一考察……………内野一樹
経済の世界化を前にして、問われている国家の役割
——フランスの事例をととして—— ……田部井英夫

〔研究ノート〕

- 価格・分配関係の決定と産出量・雇用量の決定……………北川和彦
スウェーデンにおける労働者階級の形成をめぐって
——労働組合運動と労働者文化(上)—— ……石原俊時

〔書評〕

- 熊谷重勝著『引当金会計の史的展開』(同文館, 1993年)……………坂口康
研究会委員の主な研究業績(1993年4月~1994年3月)

執筆者紹介(掲載順)

大橋英五	本学経済学部教授
田村信一	北星学園大学経済学部教授
道重一郎	敬和学園大学人文学部助教授
服部正治	本学経済学部教授
鵜川馨	本学経済学部教授
亀川雅人	本学経済学部助教授
菊地進	本学経済学部助教授
石原俊時	本学経済学部講師
高橋衛	本学経済学部助手
渡邊恵一	本学経済学部助手
鈴木重靖	広島経済大学教授
老川慶喜	本学経済学部教授
有馬賢治	本学経済学部講師
小西一雄	本学経済学部教授
山口義行	本学経済学部助教授